

キッズダンス・インストラクターは芳紀18歳

(株)BRED 草津東クラスインストラクター
田中 日菜唯(たなか ひなた)さん18歳

ダンス、はいまや中学校の教育課程で必須科目、小学校でも体育の授業に取り入れられている。TVなどで活躍するアイドルダンスグループに触発され、子供たちに習わせたい基事になっている。草津東集会所で、幼児から高学年以上のキッズダンススクールダン

先生は現役大学生

毎週木曜日夕刻、草津東集会所で軽快なリズムに乗って、子供たちが躍動している。インストラクター(指導員)は、田中日菜唯先生。ここでは、時間をもらい、①幼児クラス30分、②小学生クラス(45分)、③小学生高学年以上クラス45分の3本のレッスンを。何をかきこく、田中さんは現役の大学一年生で、ダンス教室などを広島市内を中心に手広く手掛けている(株)BREDの派遣社員である。なお本誌インタビューの人を尋ねて「記事の過去300人中一番若い人だ。イベント練習中にスカウトされる」

2005年平成17年生まれの田中さんは18才。広島市内某大学の心理学部に進学、現在一年生である。この人の意向は、学歴は伏せている。

昨年2月、高校3年生のときあるイベント出演の練習中に、BREDの寺西社長から「インストラクターにならないか」と声をかけられた。スタジオ内で研修を受けて、一定のレベルにあると認定された。

二刀流 学業もバッチリ
昨年4月からは大学生になったため、派遣社員的身分でインストラクターになった。6月から草津東集会所で「草津東クラス」として毎週木曜日、午後5時からキッズダンスレッスンをしている。さらにBREDが新たに広島市安佐南区にスタジオを建てたのにあわせ、同10月から「上安クラス」を任された。「友達からすごいねと言われるんです。アルバイトといえは、コンビニの店員などなのに、好きなダンスでアルバイトができるなんて言われます笑」と田中さんは話す。まさに大谷選手のような「万流だ」。

学業との両立は心がけていて、「講義中は集中して勉強し、インストラクターとの切り替えをしっかりとやっています。勉強は得意です。前期の試験の成績はバッチリでした(笑)」
小さい頃から事はダンスの先生
ダンスを4才から始めた田中さんは18才高校生まで広島・東江にあるダンススタジオで習った。「このス



田中 日菜唯
(たなか ひなた)

広島市西区高須台在住
2005年3月生まれ 18才
'23年4月市内某大学心理学部入学
(株)BRED 広島市安佐北区口田4丁目
'23年6月 BRED 派遣社員インストラクター、草津東クラス、同年10月上安クラスを担当。 家族:父母、兄

スタジオは先生がよく変わられ、おかげで20人ぐらいの先生の色々なダンススタイルをはじめ、覚え方、やり方のコツなどを教えてもらってこれたことができた。「レッスンを受けている自分がすごく好きでしたね」。

ダンスのコツとか、面白さを次の世代に継いでいきたいと思、将来の夢を描く卒業作文などには、将来はダンスの先生になろうと書いてました。

派遣元の代表もダンスを通して広島を元気に★ダンススクール株BREDは、創業10年目である。代表の寺西重一氏は、修進大学卒業後、大手製薬会社アイザールを経て、小さいときから習っていた大好きなダンスを通して、その素晴らしいことを知ってもらい、人々の心を豊かにし、広島を元気にするとの信念から、2014年スクール開業、後に法人化。★本誌がある広島市安佐北区口田スタジオをはじめ、広島市内の各集会所およそ50ヶ所、大学や高校の授業、部活指導にもインストラクターを派遣し、普及に努めている。現在会員数は1000人を超えたという。フラワーフェスティバルをはじめ、地域の多くのイベントに参加。こどももレッスンを。ジャンルは、ヒップ・ホップ

ダンスと一口に言っても、そのジャンルは多々ある。TVでおなじみの嵐、ダンス&ボーカルグループEXILE(エクスイル)が躍動かっこいい「ヒップ・ホップ」「ロックダンス」「ジャズダンス」、可愛い「ガールズダンス」などがある。

田中さんもおもに教えるのは「ヒップホップ」である。1980年代前半、ニューヨークのアフリカ系若者の間ではやった新しい感覚の音楽と踊りで、ダンサーはムーヴオークするマイケルジャクソンが有名。特徴は「アップ」と「ダウン」のリズム以外、特に決まった型はない。そのため、色々なジャンルと相性がよく、初めてダンスする人に適しているといわれる。

子どもたちは踊りたい！
なぜ子どもたちがダンスを習おうとするのか。「今はブームのようになっているので、子どもたちは踊りたい、踊りたいと思う子が多いです。建前は、①柔軟性が身に付く。②表現力が身に付きストレスも発散できる。③協

調性、競争心が養える。といわれる。が、①踊るのが好き。②お母さんが習わせたい。③アイドルのようになりたい。④学校以外のところで友達ができる。⑤学校のダンスの授業についていけないのが本音なのでは、」学校のダンス授業では、ダンスリーダーを決めて、その子を中心に振付をする。リーダーになれる子は、ダンスを習っている子のはずですと説明する。ダンス教室から先生を派遣してもらっている学校もある。

草津東クラスでは...



学業とインストラクターとの二刀流、ダンスのセンス、所作、子供に対する指導力、責任感などすばらしいと寺西代表はべた褒め

ステージにて(手前田中さん)



上・中・下 レッスン中の高学年クラス
音楽にあわせ一斉に体が揺動します。(右より2人目田中先生)

*ゴールデン・エイジ: 6~12才頃の子どもの運動神経が発達する時期。この時期に効率的な運動をおこなえば、基礎的な運動能力やボディバランスが整うといわれる。



発表会フィナーレ(円内田中さん)



若くして新鋭の事業家
自らもレッスンを...寺西代表



広島・FFに出場した子ども達



幼児クラスのレッスン



幼女クラスのレッスン

草津東クラスの小学高学年以上のレッスンの様子を田中さんに説明してもらおう。午後18時45分から19時30分の45分クラス。前半約15分、柔軟運動。小休憩の後、前後するが田中さんの手本の踊りを覚えさせたのを宿題として、次週のレッスンまでに家で鏡を見ながら練習したものや、自分らしさ出した振付を加えたものを各自踊ってもらおう。「よかったね。もう少しこうしたらよくなるよ」と講評や助言をする。

基礎をしっかりと教える
レッスンの半分は上手になるための「基礎」を徹底的に教える。「初めはしにも棒にもかからない子どもが、それが何とかなるんです。基礎ができれば、どんな曲でもある程度踊れるようになる。基礎とは何か。曲のテンポに合わせて、リズムトレーニング、正しくリズムが取れること。そして、アップ、ダウン、動作ができたの一部分だけを動かすアイソレーション分離する。イベントや行事があるときは集中特訓をする。

前記のように田中さんは3コースのレッスンを持っているが、一人ひとりに丁寧に教えるためには5人ぐらいがいっぱい。時には保護者が参観に来ており、レッスン体験を無料でおこなっている。

ダンスに気が行って、子供たち「学習塾」などに行かないのではと田中さんに聞くと「今はスマホがあるから、塾に行かなくても問題の解き方が学べます。絶対に塾に行かないといけないという子供は減ってきてますね」と。時代は変わった。

心理学を学ぶその理由は
なぜ大学の心理学部を選んだのかと聞くと、田中さんは、将来学校(高校)の保健室の先生になりたいのだからと答えた。高校時代、保健室の先生と親しくなり、その資格には、心理学を学ぶ必要があるとアドバイスされた。できれば大学院まで進み、スクールカウンセラーか臨床心理士の資格が取りたいと希望を述べた。そうなるまでインストラクターを続けたいと願っている。

すでにカウンセラーか？
レッスンの休憩時間や終わってから、田中さんはよく子どもと会話をします。レッスン中子どもの表情や声、しゃべり方、目線の位置を見ていて、気が付いたとき話を聞く。友達とケンカしたとか、怒られたとかを話してくれ。「最近の子供たちは心の問題を抱えていると聞きます。お母さんでもなく、学校の先生でもなく、わたしにしか話せない悩みことなどを第三者の立場で、相談にのるようになってます。講義で学んだことが将来も役に立つと信じてます」。

若き女性「万流、今後の飛躍を期待してやみません」
(編集 倉田和峰)